



# 遠大勵志

## 私の合格体験記 「燃える黒陵」 第36号発刊

この合格体験記は、昨年度の卒業生(92回生)237名の進路結果と各々どう受験に向き合い、部活動とどう両立して進路実現に至ったかについて、後輩のみなさんに伝える率直な思いのつまった体験記です。

92回生の進路実績は延べで、就職2、医療系専門学校16、それ以外の専門学校8、私立短大3、国公立短大17、私立大学248、国公立大学103でした。

数字だけでは、そこに至るまでの一人一人の抱えた思いはわかりませんが、様々な葛藤があったことは容易に想像がつかます。その葛藤を含めたたくさんの思いを吐露しているのが、この合格体験記です。一読の価値は大いにあります。

体験記の中のタイトルをいくつか書き出してみます。「夢をみる」「あきらめず、やりつづけるしかない」「最大の敵は自分自身の中にある」「いつか報われる」「後悔しないように」「自己の考えを貫く」「どんな状況でもやらない理由にはならない」「小さな積み重ねが大きな自信に」「受験の後に残るもの」「どん底からの奇跡」「挫折の果てに」「ピンチはチャンス」「妥協と諦めは違う」「辛くてよかった」・・・などなど。

これらのタイトルを読んだだけで、悩みながらも受験に立ち向かっていった先輩の姿勢が垣間見えるように思います。私も合格体験記全てに目を通しました。

その中でみなさんに特に読んで欲しい文章を抜粋して紹介します。勇気づけられます！

★自分の家庭学習時間を計測し、勉強時間に刺激を受けながらモチベーションを上げて頑張っていました。勉強は量もですが質・効率を重視すべきです。私は部活動を引退してからセンター試験まで授業・課外以外の勉強で818時間勉強しました。

★黒北で最も必要だと思ったことは「信頼」です。課題とは先生からのプレゼントです。黒北の売りは、とても先生方がまじめで生徒思いだという点。先生方は生徒がいないうちに学校に来て、周囲がまっ暗くなっても学校に残っていてくれます。その間にわからないことがあれば親切に対応してくれる、これがこの学校の「当たり前」です。課題を出す真意とは？どんな状況にあっても先生は必ず助けてくれます。私は自分勝手に生活してきてしまいました。そのせいで先生方に申し訳ない気持ちで頼ることもあまりできませんでした。努力して先生方との信頼関係を保てていたら・・・、と思うこともあります。



★2年生の時期を一番後悔しています。勉強も難しくなり、部活動でも結果を出せずにいたので本当に辛かった。今思うと自分を甘やかし、妥協していることに過ぎなかったと反省しています。後悔しないように目標を具体的に詳細に明確化して毎日の努力を積み重ねていくことを大切にしてほしい。



★「後悔しないよう」私はこの言葉が嫌いです。でもこの言葉は「後悔しないよう。自分が決めたことだから、一生懸命になれ」と続く気がします。後悔するなんてことはいっぱいあります。でも後悔を次の段階へ進めるいい経験として捉えてほしい。

★推薦入試を通して、人として成長させて頂きました。自分の努力次第で自分を変えることは絶対にできます。過去は変えられませんが、未来は変えることができます。

★模試の判定はいつもD・E判定でした。ですが、楽な方に逃げなかったからこそ、合格を勝ち取ることができたと思います。私が伝えたいのは、自分の将来と進みたい道に向けて妥協せず諦めないことです。受験とは壁が連続して立ちほだかる道です。それを一つずつ壊していくことが受験勉強なのだと思います。松岡修造の言葉に「100回叩くと壊れる壁がある。みんな何回叩けばいいかわからないから99回まで来ていても途中で諦めてしまう」というものがある。100回目の一撃は何事にも諦めず日々を努力してきた者にしかできないと思います。頑張るのは今です。自分から逃げずに戦ってください。



★受験は団体戦だとよく言われますが、本当にその通りだと思います。支えになるのは一緒に頑張る仲間です。進学や就職など目指すところは違いますが、将来に向けて努力するということは共通です。私一人では第一志望校の合格は勝ち取ることはできませんでした。黒北での3年間はあっという間で辛いことや大変なこともありましたが、それ以上に得るものがたくさんありました。

★「本当の敵は自分自身」。受験を通して私が痛いほど感じたことです。敵は全国の受験生ではなく、逃げようとする自分でした。眠気に負けて寝てしまう自分、勉強をサボったことを正当化しようとする自分、楽な道を選ぼうとする自分。受験はきついです。しんどいです。それでもそれらを耐え抜いて得られるものがあります。



★私は受験期に「努力は必ず報われる」という言葉が大嫌いでした。部活動で嫌というほど思い知らされたし、どれだけ頑張ってきたかを知っている友達の不合格ほど苦しいものはありませんでした。終わりの見えない毎日毎日机に向かい続ける生活で、何もかも投げ出したいと何度も思いました。それでも部活で苦しい思いをした分、受験では必ず勝つという思いで頑張れました。だからこそ、みなさんには部活動や勉強など目の前のことにかむしゃらに頑張してほしいです。その経験は必ず、受験を乗り切る力になります。

★受験を通して本当に色々な経験をしました。自分のだめな部分も改めて知ることができました。いくつかの不合格を経て、合格を勝ち取ったわけですが一つ一つの経験が必然だったと信じています。受験は多くの人が挫折を味わいます。でもこの挫折は将来力強く生きていくために必要なことだと思います。

『手が届くのに手を伸ばさなかったら死ぬほど後悔する。それが嫌だから手を伸ばすんだ。それだけ。【仮面ライダーオーズより】』

★黒北に入って一度は課題の多さに挫折したことがあると思います。近道はないのでこつこつと積み上げるだけです。私もたくさんつまずきましたが合格できたのは諦めずに全力で受験と向き合えたからです。兄から「黒北はいい学校だ」と言われていましたが、信じ切れていない自分がいました。しかし、今はたくさんの先生方に支えられて掴んだ合格だと思っています。間違いなく黒北は誠意をもって生徒を支えてくれる先生達であふれています。どうか投げ出さないで最後までやり切ってください。



★3月20日の10時に中期の合格発表がありました。まさかないだろう……そう思いながら見ると番号がありました。嬉しいというより安心という気持ちが大きかった。そして13時の後期の合格発表。受かっても受からなくても仕方がない。そう思いながら見たら番号がありました。前期の時に無意味だと思った勉強の積み重ねが、その日で一気に意味のあるものになりました。

## 家庭科授業でマスク製作

3年生の文Ⅱコースで行っている「発展家庭基礎」の授業の中で、マスク製作を実施しました。



製作したマスクを大切に使いながらコロナ対策への意識を高めていきましょう！  
手洗いも忘れずに。